LGBT向け求人サ

ジョブレインボー　企業の多様性推

JobRainbow（ジョブレインボー、東京都渋谷区、星賢人社長、050・1745・6489）は、性的少数者（LGBT）に特化した求人ウェブサイト「JobRainbow」の運用を始めた。就職活動の本格化に合わせた、多様性の推進に取り組む企業情報の発信とLGBTの支援が目的。利用料は、求人情報の掲載を含む基本的なサービスで月額15万円前後。2019年度中に月間アクティブユーザー60万人を目指す。

掲載する求人情報は、企業への個別のヒアリングやLGBTに関する研修などを通して同社が作成する。企業は求職者の募集に加えて、多様性推進に関する取り組みの紹介や、サービス利用者を

工作機械 受注29%減

2月 1100億円割れ 25カ月ぶり

統計 実績 予測　日工会まとめ

日本工作機械工業会（日工会）が11日まとめた工作機械の2月受注実績（速報値）は、前年同月比29・3%減の1097億4400万円となり、5カ月連続で減少した。好不調ラインの1000億円が間近だ。1100億円割れは25カ月ぶり。世界情勢の不確定さが増し、設備投資の見送りが広がっている。

内需は同28・4%減の416億7100万円で3カ月連続で減少した。450億円を下回るのは24カ月ぶりだ。先行きの不透明感からくる様子見や、国による設備投資支援の補助金制度の活用を目越した、一時的な投資見送りがある。外需は同29・8%減の680億7300万円で5カ月連続の減少。700億円割れは25カ月ぶりとなった。

米中貿易摩擦に加え、英国の欧州連合（EU）離脱、米国の株安など世界情勢の先

日本工作機械工業会調べ　（2月は速報値）

的確迅速公正な意思決

社説　ルノー・日産・三菱連合

〝ポスト・ゴーン時代〟の、ルノー・日産・三菱アライアンスのあり方をめぐる3社の議論が進んでいる。次の3段階に簡略化して推測してみたい。まずはアライアンスを今後も維持するべきかどうか。次に維持するならどのような資本関係がいいのか。最後に、各社の競争力を高めるためにはどうすべきかである。

アライアンス自体の是非だが、今のところ日産自動車の西川広人社長は関係を解消するつもりはないようで、カルロス・ゴーン被告の後任であるルノーのジャンドミニク・スナール会長との会合も前向きな雰囲気が伝わっている。両社の間では、車の中核的な部品セットであるプラットフォームの共当程度進んでおり、調化によるコスト削減た。これを解消し、提間を逆戻りさせることではないだろう。

関係を維持するならなあり方が望ましいのーは日産株の43・7%る筆頭株主で、日産は の15%を保有するが議い。そして日産の傘下を出資する三菱自がのゴーン退任劇は、こいびつな関係から来るみが鬱積し、極端な形ものだろう。ルノーは筆頭株主である仏政府けて、経営統合を含めの関係を強化固定した

設立50年 顧客ニーズに真剣対応 半導体関連企業の頼れる一社

株式会社三幸　https://kk-sanko.co.jp

左上／精密機械製品
結晶育成炉
右上／セラミックス製品
右下／グラファイト製品

今年で設立50周年を迎える三幸は、半導体業界に於けるカーボン・セラミックの加工、環境対策、力率改善、作業・工程の効率化、新型ヒータ開発を手がける企業だ。

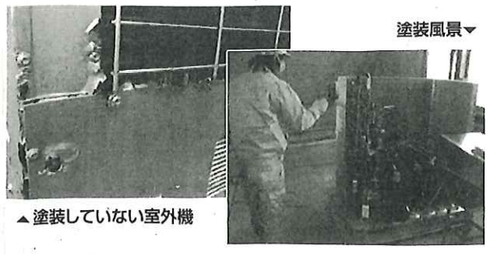
グラファイト・セラミックス・精密機械製品

主に半導体業界で製品の販売等を行い、三本柱としてグラファイト・セラミックス・精密機械製品を取り扱う。経験豊かな技術者を擁し様々な顧客ニーズに対応可能で、自社製品としては、縦型炉用ヒータ、N2ヒータ、自動制御装置用診断ユニット等を販売する。また、業界を超えた豊富な取り扱い品の中からニーズを満足させる商品の提案も行っている。

豊富な知識と経験でパワフルにサポート

開発・設計・製造・評価・保守まで一貫して依頼できるのも、同社の強みである。一点一様品からマーケティング結果に基づく量産品の装置・ユニット開発まで対応。熟練した設計者が正確な設計を行い、顧客の様々なニーズを実現させることで高い満足度と信頼を勝ち得てきた。また、クリーンルームを完備しており、半導体関連・医療品関連等の製品まで対応が可能。一般的な評価からクリーンルーム内での製品評価及びレポートの作成業務も行う。保守についても不具合に対する改善策の提案力に優れるなど、安心のサポートも魅力。半導体関連企業において、現場での困り事を相談できる頼れる一社となっている。

今までの防食塗装を凌駕する新塗装 空調機の「超防食塗装」


塗装風景▼
▲塗装していない室外機

昭和34年の創業以来、電気ヒーターをはじめ、空調機、乾燥機などの熱関連機器・装置の製造・開発を手掛けている日本電化工機は、空調機の長寿命化を図り、沿岸や温泉源に隣接した建物向けの耐塩害塗装、防食塗装を提供している。

防食技術の更なる進化で、過酷な環境下でも耐えられる塗装処理

長年、過酷な環境下では実現不可能とされてきた空調機の耐久性向上を実現するべく、耐海水性・耐食性などに優れているビニルエステル塗料の採用と、同社開発の高圧エアー送風ノズルを併用することで、新塗装「超防食塗装」の開発に成功した。

塗料を円柱形に噴霧すると同時に塗料の上に薄くて強い膜をはり、防食状態を従来より長く保つことができる。また、通常では届かない極小の隙間奥までの塗装も可能となった。新品を工場で塗装。従来塗装より永く機能維持できる。丈夫な塗膜を作り、より防食性を高め塩害や硫黄等から空調機を保護し、長持ちさせられるとユーザーから高い評価を獲得している。

現在、温泉地のホテルや旅館、海岸地区にて、この防食技術は浸透し、ますます引き合いが増えている。

日本電化工機株式会社
http://www.n-denka.co.jp

最新ニュース

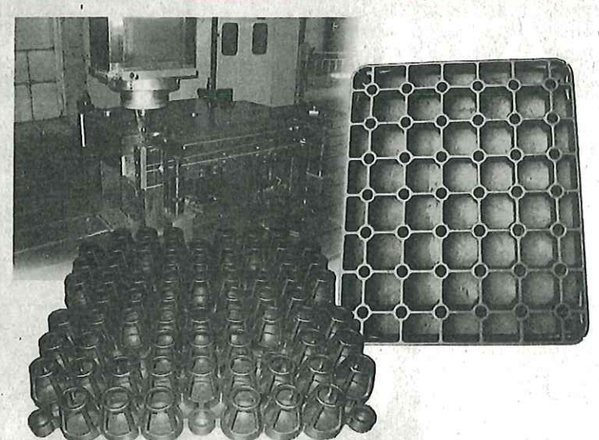
中国経済減速、今こそ中国調達のチャンス！

ケイサンテクノは、20年間の中国調達の経験を活かし、中国製品の品質向上、中国ならではの製造方法の発見に注力してきた。

日本の製造メーカーが飽和状態で価格が高く、納期も長くなって来ている今こそ品質の良い中国製品を求める企業ニーズは増大すると同社は見ている。特に鋳造品はその傾向が強く、機械加工品や大物製缶品なども同様。

早くから素材や加工、熱処理、表面処理迄を全て中国で行い、日本向けだけでなく、今後は中国国内及び第三国への納入を行う事も視野に入れ、同社は今までの大連、天津周辺の調達から上海、広州周辺迄そのエリアを拡大させている。人材においても国籍の差、男女の差、年齢の差はあまり無いと考え、積極的に中国人を採用し、ヤル気のある人員にはどんどんチャンスを与えている。

常に新しいことにチャレンジすることを行動指針とし、今後も中国で新たな分野、製品に範囲を広げる同社の動きは必見である。



株式会社ケイサンテクノ　http://www.keisantechno.co.jp

企画・構成 ㈱経済情報センター 0120-22-0055　PR